

工学部・工学系研究科 交換留学プログラム報告書

School/Faculty of Engineering Student Exchange Program Report Form

記入日/Date: 2024/10/30

- 参加プログラム/Program: 工学系交換留学
- 派遣先大学/Host university: ミュンヘン工科大学(Technical University of Munich)
- 留学期間/Program period (yyyy/mm/dd): 2024/04/04 ~ 2024/09/08
- 東京大学での所属学科・専攻等/Department at UTokyo: 建築学専攻
- 学年(留学開始時)/Year at the time of study abroad: 修士 2 年

■留学を決めるまでの経緯/How and why did you decide to study abroad?:

私は、建築学を専攻する中で、あるいはその前から、世界の都市や建築、文化、言語に興味を抱いていた。そこで、長期間海外に身を置くことで、国際的な知識や経験を獲得するとともに、建築・都市デザインや英語のスキルアップをしたいと考えた。現地での活動について具体的な計画は乏しかったが、時間のある学生にしかできないことをやりきりたいと思い、留学を決意した。

留学の時期について/About the timing of the study abroad period

■留学前の本学での修学状況/Academic status BEFORE the program:

2023 年/Academic year / 修士 1 年/University year / A2 学期まで履修/Completed semester

■留学中の学籍/Academic Status during the studying abroad/program:

留学

■留学後の本学での修学状況/Academic status ON RETURN:

2024 年/Academic year / 修士 2 年/University year / A1 学期から履修開始/Semester

■留学にあたってこの時期を選んだ理由/Reason for choosing this period to study abroad:

私が本格的に留学を検討し始めたのは大学院入学後であり、2023 年(修士 1 年)の本プログラムには参加できなかった。就職活動の関係上、修了を延長しないスケジュールリングだったため、修士論文の執筆を加味して 2024 年(修士 2 年)の春学期を選んだ。

学習・研究について/About study and research

■留学先で履修した授業科目と単位数の詳細/Subjects taken and credits earned:

Urban Transitions Lab III : 15 ECTS

English - English Conversation Partners Program B1 - C1+ : 2 ECTS

■留学中の学習・研究の概要/Overview of the study/research during study abroad:

留学先のミュンヘン工科大学(以下 TUM)では、School of Engineering and Design, Department of Architecture に所属し、その授業として開講されている国際アーバンデザインスタジオ、“Urban Transitions Lab III”での建築設計プロジェクトを中心に活動した。単位として 15 ECTS が与えられるスタジオは、コンサルテーションやプレゼンテーションが多く、この他には英会話のプログラム、“English - English Conversation Partners Program B1 - C1+”のみ履修した。

また、修士論文の執筆に向け、TUM の活動と並行して自身の研究に取り組む必要があった。そのため、東京大学で所属している研究室のゼミにも参加していた。

<p>■ 留学先での 1 学期あたりの履修科目数と履修単位数/Number of subjects registered per semester and credits earned per semester :</p>
<p>2 科目/Subjects / 17 単位/credits</p>
<p>■ 1 週間あたりの学習・研究に費やした時間/Hours spent for study/research per week :</p>
<p>30 時間/hours</p>
<p>■ 学習・研究以外の活動で取り組んだもの/Activities you took part in other than study/research :</p>
<p>旅行、学生交流、スポーツ</p>
<p>■ 学習・研究以外の活動で取り組んだものの内容、または取り組まなかった理由/Details of the activities you chose, or the reason why you did not take part in any activity other than study/research :</p>
<p>留学の主目的は世界の都市や建築を知ることにあつたため、授業やゼミのない日の多くを旅行に費やした。ミュンヘンで出会った学生や、ヨーロッパに留学中の建築学生と旅して巡り、留学期間 5 か月を通して 10 か国約 25 都市を訪れることができた。</p> <p>ミュンヘンにいる間は、Language Café と呼ばれる言語交換の場に足を運んだり、各国の食文化を広めるイベント Länderabend の企画・運営に参加したりする中で、多種多様なバックグラウンドを持つ学生と交流した。また、ZHS という大学スポーツ施設が運営するプログラムや、自主的な学生間国際マッチという形で、サッカーやビーチバレーといったスポーツにも積極的に取り組むことができた。</p>
<p>■ 週末や長期休暇の過ごし方/How did you spend the weekends and vacations? :</p>
<p>週末は上記のような活動をするほか、友人と食事やイベントに出かけた。ミュンヘンは Oktoberfest に代表されるような催しが多いが、それらに参加するのは現地の文化を肌で感じるのにもってこいだと思う。また、大規模なイベントには世界各国から人が集まるため、地元の人々だけでなく、多国籍・多文化な人々と交流することもできる。</p> <p>長期休暇はもっぱら旅行に勤しんだ。日本から来てくれた家族や友人と過ごした時間は印象深い。</p>

派遣先大学の環境について/About environment at the host institution

<p>■ 設備/Facilities :</p>
<p>食堂、スポーツ施設、図書館、機器類(プリンター、プロッター、レーザーカッター)</p>
<p>■ サポート体制/Support for students :</p>
<p>留学生に対するサポートはかなり充実している。TUM は EU のプログラム Erasmus+を利用した留学生が多く、その学生ネットワークである ESN(Erasmus Student Network)はオリエンテーションやイベントを数多く開催している。各イベントには ESN TUMi というプラットフォームから申し込むことができ、TUM に加え、ミュンヘン大学(以下 LMU)の学生とも交流することができる。</p>

プログラム期間中の生活について/About life during the program

<p>■ 宿泊先の種類/Type of accommodation :</p>
<p>学生寮</p>
<p>■ 宿泊先の様子、どのように見つけたか/Environment around the accommodation and how did you find it :</p>
<p>留学の申込時に希望。大学側が手配してくれた。</p> <p>TUM や LMU の学生が居住する学生寮で、設備やサポートは充実している。部屋はメゾネットか一般的な 1K で、留学先としては珍しくトイレやシャワー、キッチンも専有だった。欠陥がある部屋の話も聞かすが、それを連絡すればすぐに直してくれる。</p>

■気候、大学周辺の様子、交通機関、食事等/Climate, environment around the institution, transportation, food, etc.:

気候:

4-9月は全体的に過ごしやすかった。気温は日本より低く、4月の寒い日は10°Cを下回る。夏は32°C程度まで上がるが、湿度が低いため日本のような蒸し暑さはない。部屋にエアコンはないものの、購入した小型の扇風機で十分生活できた。

緯度が高いドイツの夏に特徴的なのは日照時間の長さで、朝5時から夜22時まで明るい。これは、時間の限られている留学生にはありがたかった。

環境:

ミュンヘンには Englischer Garten や Olimpiapark のような大規模の公園が数多くあり、大学前にも芝生の広場がある。過ごしやすい気候と長い日照時間も相まって、外で過ごすことも多い。公園以外にも、河原やビアガーデンで友人とよく集まっていた。

交通機関:

交通網は、電車、地下鉄、トラム、バスと充実しており、学生は月29ユーロで乗り放題になる。これは Deutschlandticket というサブスクリプション形式のチケットで、これを持っていればドイツ国内すべての普通電車に乗ることができる。想像通り、電車がオンタイムに来ないこと、さらには運行中止になることも多々あるが、これらは想定して行動した方がよい。

旅行の際はこれらに加え、ICE や FlixBus、飛行機の中から安いものを調べて利用した。

食事:

やはりビールは美味しい。ミュンヘンには6大ビールがあり、自分のお気に入りを探すのも楽しい。スーパーなどでかなり安く買えるので、友人と公園で飲むことも多々。

ミュンヘンは特に外食が高く、平均で一食20ユーロほど。一方、食材の値段は特筆するほど高くないため、学生は基本的に自炊している。アジアスーパーや日本食スーパーで日本の食材や調味料、お菓子なども手に入れることができる(もちろん日本より2-3倍高い)。

スーパーや薬局などは、日曜日、平日でも20時以降ほぼすべて閉まることに注意が必要。

服・家電・家具など:

大型のショッピングセンターがあるなど買い物には困らないが、留学期間中しか使わないものは安く買える場所を選ぶべき。留学生が入替わるタイミングで中古品を売ったり買ったりしている人も多いため、情報収集が必要。

また、無印良品やIKEAのような見慣れたブランドも見かける。

■お金の管理方法、現地の通貨事情/Management of money and situation about local economy:

ドイツの通貨はユーロ(EUR)。

お金の管理は Wise というマルチカレンシー口座のサービスを利用した。普通口座として ATM から引き出すことなどもできる上、日本の口座からの送金や友人とのやり取りも容易である。

キャッシュレスに対応した店舗がほとんどであり、私は Wise のデビットカードを iPhone の Wallet に入れて使用していた。

■ 治安、医療関係事情、心身の健康管理で気をつけたこと等、危機管理/Aspects of risk and safety management,

local health care system, and any actions taken to maintain your health :

治安・危機管理:

ミュンヘンはヨーロッパの中でも特に治安がよく、スリのような軽犯罪のリスクも極めて低い。
危機管理としては、荷物を肌身離さず持つておくなどの簡単なもので十分と言えるだろう。

健康管理・医療:

留学初期は心身ともに慣れないが、これは皆同じ。時差、気温、日照時間、人、言語などすべての環境が変わるからだ。特にはじめのうちは、周りの日本人や日本にいる家族、友人と積極的にコミュニケーションを取ることも重要だと思う。

私は利用することがなかったが、ドイツは医療もかなり充実しているのでそこは安心。

留学前の準備・手続きについて/About preparations and procedures before studying abroad

■ 留学先への入学手続き/Procedures for enrollment required by the host institution :

国際交流チームの方々や留学先大学からの案内にしたがって行っただけで OK。

■ ビザの手続き/Procedures to obtain visas :

現地で行った。

ドイツはビザ等の手続きが信じられないくらい遅いことで有名。私は 4 月に申請して 7 月に入手することができたが、この期間は運。

■ 医療関係の準備/Preparations or actions taken to maintain your health :

自分が慣れている薬などの医療品を購入した。

■ 保険関係の準備/Preparations/procedures for insurance :

日本 : 大学から案内される付帯海学、OSSMA に加入(留学前)。

ドイツ : TK という医療保険に加入(留学中)。

ドイツでは、閉鎖口座と呼ばれるアカウントへの預金と、医療保険への加入が義務づけられている。どちらもビザ申請前に手続きが必要だが、Expatrio など一括で行うことができる。

■ 東京大学の所属学部・研究科(教育部)での手続き/Procedures required by faculties or graduate schools at UTokyo :

建築学専攻の場合、以下を提出する。

- ・海外渡航フォーム
- ・留学許可願
- ・修学計画書
- ・受入許可通知

建築学専攻事務室に連絡すると、これらの方法を教えてくれる。

■ 語学関係の準備/Language preparation :

英語 : TOEFL iBT の受験、YouTube、洋画など

ドイツ語 : Duolingo

ドイツでは基本的に英語が通じるため、ドイツ語はなくても生活できる。ただ、留学すると、帰る頃にドイツ語ができるようになりたいと思うようになる。

費用・奨学金に関すること/About expenses and scholarships to participate in studying abroad

■参加するために要した費用/Expenses of participation :	
航空費/Airfare	190,000 円/JPY
派遣先への支払い(授業料・施設利用料など)/Payment to host institution (tuition, facilities fee, etc.)	15,000 円/JPY
教科書代・書籍代/Textbook / Book	5,000 円/JPY
海外留学保険料(東京大学指定のもの)/Overseas travel insurance fee (designated by UTokyo)	90,000 円/JPY
保険・社会保障料(留学先で必要だったもの)/Insurance and/or social security (required by host institution/region/country)	125,000 円/JPY
■その他、補足等/Additional comments :	

■留学先での毎月の生活費/Monthly cost of living during the study abroad period :	
家賃/Rent	65,000 円/JPY
食費/Food	50,000 円/JPY
交通費/Transportation	5,000 円/JPY
娯楽費/Entertainment/Leisure	50,000 円/JPY
■その他、補足等/Additional comments :	
これらに加えて旅費がかかった。	

■留学のための奨学金の受給有無/Scholarships for study abroad :	
有	
■奨学金の支給機関・団体名等/Name of the source of the scholarships :	
JASSO	
■受給金額(月額)/Monthly stipend :	
¥80,000	
■受給金額についての補足等/Additional comments about the monthly stipend :	
授業期間(4-7月)しか支給されない。	
■奨学金をどのように見つけたか/How did you find the scholarships? :	
国際交流チームの方からのご紹介。	

今後の予定について/About your future plans

■ 留学先で履修した授業科目のうち、単位認定申請をする(予定の)もの/The subjects for which you plan to (are planning to) transfer credit to UTokyo:

なし(建築学専攻は単位認定不可)

■ 留学前に取得済みの単位数/Number of credits earned at UTokyo BEFORE your study abroad:

25 単位/credit(s)

■ 留学先で取得し、単位認定申請を行う(予定の)単位数/Number of credits earned and (planned to be) transferred to UTokyo:

0 単位/credit(s)

■ これから本学で取得予定の単位数/Number of (expected) credits to be earned on return:

8 単位/credit(s) (修士論文のみ)

■ 卒業/修了予定/(Expected) year/month of graduation (yyyy/mm):

2025 年 3 月 (2025/03)

留学を振り返って/Reflection

■ 留学の意義、その他所感/Impact of the study abroad experience on yourself or your thoughts:

冒頭に述べたように、私にとって留学の目的は、世界の都市、建築、文化、言語を知ること、そしてその上で自分の能力を形づくることの二つだった。本留学の意義は、その達成に向けた活動に加え、留学の中で見えてきたものが大きい。

まず、「住む」という行為は、それだけで複雑な経験だ。都市によって、文化、言語、人、あらゆる環境が異なり、それに適応していかなければならない。その中で見えてくる都市像・建築像は、ただ旅行して見える表面的な外形とは違う。もちろん 10 か国を旅した経験は貴重だったが、それもヨーロッパという一つの文化圏だったからこそ、その共通点や差異に目を向けることができた。結果的にこの留学が修士論文の方向性を決定づけたが、それは長い期間を通して都市に触れたことで得られたのだと思う。

さらに大きかったのは、国際色豊かな環境下に身を置くことができた点だ。留学生の多い TUM では、デザインスタジオも 10 以上の国籍で構成された。私はイタリア人、インド人との 3 人チームで 3 か月間活動したが、都市や建築の理論、デザインへの知見はもとより、彼らの文化を深く学ぶことができた。バックグラウンドが根本から異なる彼らとの議論は、自分の主張をどう理解してもらうか、相手の主張とどう組み合わせていくかを考える刺激的な時間だった。その中でアイデアやデザインがまとまっていくプロセスは、何か今後生きていくものがあるのではないかと感じている。

■ 今後のキャリアに対する考え方や就職活動に与えた影響/Impact of the program on your thoughts for a career or job hunting:

留学を検討し始めた頃は、その中でキャリアに対する考え方を醸成しようと思っていた。しかし、インターシップへの参加を契機に、自分のキャリアビジョンが明確になったことで、留学前の内定に目標を切り替えた。そこから就職活動を本格化したが、留学、就職活動、さらには修士論文を並行して進めたことで、自分のやるべきこと、やりたいことを強く認識できたと感じている。

■ 留学による今後のキャリア・就職活動へのメリット・デメリット/Merit/Demerit of studying abroad on your future career/job hunting :

留学による就職活動へのデメリットとして一番大きいのは、スケジュールリングの難しさだと思う。留学中に就職活動をしていた学生もいたが、貴重な留学期間を奪われることにもどかしさを感じていた。

先述のように、私は留学前に就職活動を行い、内定をいただくことができたが、このようなスケジュールも留学準備や修士論文との兼ね合いを踏まえると非常にタイトだった。

■ 留学中に行った就職活動/Job hunting activities during study abroad :

なし

■ 進路・就職先(就職希望先)/Career/Occupation (planned) :

総合ディベロッパー

■ 今後留学を考えている学生へのメッセージ、アドバイス/Any messages or advice for future participants :

私が留学を決意した最後の決め手は、留学経験のある友人からのアドバイスでした。それは、「留学中にやりたいことは留学中に考えればいい」というもの。これは理想的ではないのかもしれないけれど、私にとってこの言葉は大きかったし、実際その通りだったと感じています。留学の目的や意義は人それぞれだと思いますが、それがどんな小さなものでも、帰ってきたときには大きな経験になっているはずですよ！

■ 準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト、出版物/Websites or publications which were useful while preparing for or during your time overseas :

ドイツでの居住経験がある日本人が様々なウェブサイトを更新していて、それらはかなり役に立つはず。あとは周りの留学生や先輩から情報収集しましょう！

最後に、デザインスタジオの成果物を一部掲載する。

